

追分高校です

48

追高の今

「成長まであけたい」
この思いを大切にしています



北海道追分高等学校

「一人ひとりが主役」の追高

荒天のため延期となった追分高校の学校説明会が、3日間の日程で実施されました。参加申し込みは、安平町の18名をはじめ恵庭、千歳、苫小牧地区等から中学生30名、保護者15名、中学校の先生9名、地元生徒と保護者の参加者増が目立ち、追分高校に寄せる期待が伝わってきました。

全体説明では、ステップアップとフォローアップ体制で生徒を成長へと導く「

一人ひとりが主役になれる追高の学び」や安平町の支援内容の説明。

授業体験では、3年生の選択授業に本校生徒と机を並べて体験。パソコンによるアニメーション制作やピアノ演奏体験、手話や点字体験を通して追高の学びに触れました。中学生への事前アンケートによる「フレンドリーな生徒と熱心な先生方」という追高の印象が確認できた見学会となりました。



アニメーション制作の様子

地域と連携した

体験学習

追分高校では、安平町の「ふるさと教育・学社融合推進事業」による取り組みとして、地域と連携した体験学習を実施しています。9月には「そば哲」の松平哲夫代表とご子息、そして追高卒業生を講師に招いたそば打ちの調理実習を3年選択授業「食物研究」で実施。「そば哲」の技や、そばに対する愛情を生徒たちは学びました。



↑そば哲代表らとの記念写真

10月には、2年生家庭総合の保育分野「子どもを知る」の体験学習として、追分保育園児26人を追高の体育館に招

き異年齢交流。来校のとたん、足跡の形に色紙を切り抜いて廊下に貼った体育館への道標に園児たちはハイテンション。生徒と一緒にペットボトルにカラフルなビーズを入れたマラカス作りの後、生徒によるピアノや金管楽器の伴奏で、トトロのテーマ曲「さんぽ」の合奏と合唱。その後、ドッジボールで盛り上がりました。「園児には足跡の歩幅が広すぎた」「園児の体力についていけなかった」「思っていたよりみんな大人」と生徒は様々な気づきを体験しました。



↑手作りのマラカスで遊ぶ園児

▼11月の行事予定

- 10～13日 見学旅行
- 22日 全商ビジネス文書実務検定
- 27日 後期中間考査(12/1)

▶皆様のご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページをリニューアルしています。
ぜひ、ご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校